授業科目	補聴器・人工内耳				
担 当 者	竹田利一・福田信二郎				（オムニバス）
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学　　年	２年	総単位数	１単位
		開講時期	後期	選択･必修	必修

■ 授業目的・内容

・補聴器のフィッティングにおいての総合的な知識を習得し、補聴器適応の決定、補聴器の調整選択、補聴器適合検査の指針について学ぶ（竹田）
・人工内耳や残存聴力活用型人工内耳（EAS)、人工中耳（VSB）の仕組みや適応、マッピング、聴覚障害者の臨床の実際について学ぶ（福田）

■ 到 達 目 標

・補聴器のフィッティングにおいての総合的な知識を習得し、補聴器適応の決定、調整と選択の基礎、補聴器適合検査結果の評価について説明できるようになる（竹田）
・人工内耳や残存聴力活用型人工内耳（EAS)、人工中耳（VSB）の原理を知り、適応や装用、リハビリテーションの内容や進め方を説明できる。補聴器・人工内耳装用者など聴覚障害者に適切な関わり方ができ、必要な（リ）ハビリテーションを提案することができる。（福田）

■ 授 業 計 画

第１回　補聴器の種類と仕組み（竹田）
第２回　補聴器の性能（補聴器の最新デジタル機能）（竹田）
第３回　補聴器に関する測定、JIS、カプラの違い、実耳測定、補聴器特性検査装置を使った実習（竹田）
第４回　補聴器調整器の使い方、調整器の意味（竹田）
第５回　イヤモールドに関する講義と実習（竹田）
第６回　補聴器のフィッティングの考え方（リニア、ノンリニア増幅）（竹田）
第７回　補聴器の適応と選択、補聴器装用指導（竹田）
第８回　補聴器のフィッティングと評価（補聴器適合検査の指針2010の解説）（竹田）
第９回　人工内耳の仕組みと適応について（福田）
第10回　人工内耳のマッピングの実際、人工内耳の（リ）ハビリテーション（福田）
第11回　残存聴力活用型人工内耳（EAS)、人工中耳（VSB）の仕組みと適応について（福田）
第12回　聴覚障害者への支援、聴覚障害児の母親指導について（福田）
第13回　補聴器・人工内耳、聴覚障害総復習（福田）
第14回　補聴器・人工内耳、聴覚障害総復習（福田）
第15回　補聴器・人工内耳、聴覚障害総復習（福田）

■ 評 価 方 法

筆記試験100％

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

第１回～第８回は、１年時、２年前期に学習した補聴器の仕組み、特性測定の復習をして講義に臨むこと。第13回～第15回は聴覚障害Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、耳鼻咽喉科学、補聴器・人工内耳で学んだ内容の総復習なので、これまで学習した内容を必ず見返しておくこと。

■ 教　科　書

書　名：補聴器のフィッティングと適用の考え方
著者名：小寺一興
出版社：診断と治療社

■ 参考図書

■ 留意事項

不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。